

**童話、島田忠夫選**

山路  
東京藥學校生徒  
茶木七郎

なにか芽のある  
山路は  
小鳥の聲も  
してたつけ

向うの峠の  
白い雲  
なにかの形に  
似てたつけ

山路ひとりで  
となり村  
荷物もつてく  
時だつけ

**貸家案内**

出町 商人向 二五〇〇  
白銀町 勤人向 八五〇〇  
全全 商店向 四〇〇〇  
仲問町 勤人向 二六〇〇  
全全 勤人向 四〇〇〇  
全全 勤人向 二六〇〇  
全全 勤人向 四〇〇〇  
全全 勤人向 二六〇〇  
全全 勤人向 四〇〇〇  
全全 勤人向 二六〇〇  
全全 勤人向 四〇〇〇

**加藤營業所**  
白銀町(電話三二〇番)

**夏服**

種々取揃へました  
大勉強いたしました  
小供洋服は壹圓より其他特  
別格安もの多数是非御出下  
さい

**十字屋洋服店**  
平停車場前通り

**◎株式募集要項**

資本金總額 金貳百萬圓  
壹式ノ金額 五拾圓  
募集株數一萬株  
申込株式單位 貳株以上  
申込期 昭和三三年七月廿五日ヨリ  
申込證據金 九月十日迄  
第一回拂込金 名壹株ニ付金貳圓五十錢  
第一回拂込期日 各一株ニ付金拾貳圓五十錢  
拂込ノ方法 昭和三三年十月十五日迄ト  
募入決定方法 後記ノ通り銀行及會社  
片倉磐城製糸株式會社 應募株式ガ應募株式ニ起  
創立委員長 發起人ニ於テ適宜處定ス

發起人 片倉兼太郎 同

申込取扱所及拂込個所  
株式會社福島縣農工銀行平支店  
株式會社平銀行本支店出張所  
郡山市 同社岩代製糸所

定款目録見書株式申込用紙ハ取扱所又ハ  
創立事務所ニアリ  
創立事務所 (元郡役所内)  
石城郡養蠶同業組合事務所

**中元大賣出**

メリヤス界狂者  
品之値を御覽下さい  
他店の追従を許さぬ  
此の大廉賣

大人シャツ二十錢ヨリ 格安サルマタ十錢ヨリ  
金壹圓以上御買上の方には景品進呈

**山家メリヤス店**  
一丁目(電話六〇五番)

**外科専門科線**

入院應需

**上田外科醫院**  
平町南町  
電話一二九番

夫儀重儀永々病氣中の  
處十一日午後八時死去  
仕り候段辱知各位に謹  
告仕り候

追而葬儀は十四日午後三時自宅出棺長橋町  
性源寺に於て執行仕る可く候  
八月十一日

喪主 清野重キヨ  
親族 酒井秀次郎 酒井重雄  
代 佐藤長久市 猪木清三郎  
友人 鈴木辰三郎 大森勇  
總代 人

本校講師清野儀重氏永々病氣中の  
處十一日午後八時死去仕り候段辱  
知各位に謹告仕り候  
八月十一日

私立平産婆學校  
看護婦 藤沼醫院

私立平産婆學校同窓會  
八月十一日  
看護婦 藤沼醫院

内科 小兒科 花柳病科 (需應院入)

平町紺屋町  
**藤沼醫院**  
電話四五〇七番

**開店御披露**

美味...大量...時節柄...安値  
御試食の上...御判談を

**出前迅速...一品配達歡迎**

豚肉年中無休販賣  
**カフェー 幸樂**  
平町六丁目電話五三九

**外科** 花柳科 婦人科  
婦人科 婦人科  
内科 × 光線科  
平町字田町  
**赤産病院**  
(電話四七五番)

**今大好評賣レルハク**  
御土産ニ...御進物ニ...お茶會ニ...  
絶對限リ平驛前ホテイヤの

**薄皮まんぢゅう**  
製造本舗  
布袋屋菓子舗  
電話三五六番呼

徒弟募集 十三四歳位ノモノ三人 希望者御來談ヲ乞フ

**看護婦派出**  
の求めに應ず  
平町南町  
**平看護婦會**  
電話三〇七番

**常富新聞**

日刊 發行兼編輯人 川 文 本 社 下 同 地 (電話三三〇番)  
印刷所 電話三三〇番

定 一 份 金 五 錢  
一 月 金 五 十 錢  
三 月 金 一 百 五 十 錢  
六 月 金 三 百 錢  
一 年 金 六 百 錢

外 國 寄 費 另 計  
代 理 店 各 處 有 之

日 刊 報 紙 類 人 川 文 本 社 下 同 地 (電話三三〇番)  
印刷所 電話三三〇番

刊 夕 日 三 十 月 八

### 日本刀を揮つて

#### 妻と兒女三名を殺傷

妻と一男一女は即死

今曉平窪村の慘劇

#### 原因精神異常か

平窪字大字中平窪字高儘三  
四農小野高義(三)は本年三  
月頃より精神に異常を呈し  
度々自殺するなど、家出し  
たのを連れ戻つた事あり爾  
來監視を怠らずに居た處今  
曉三時前後と覺しい頃及渡  
り二尺八寸の日本刀を取り  
出し自宅四疊半の座敷に就  
寝中の妻と(二)長男儀平  
(一)長女ユキ(五)二男祐昭  
(三)四名の頸部に斬りつけ

### 立つは立つは……

#### 實に定員の三倍に上る

#### 猛烈な現業員選挙

平窪關係鐵道現業員の選挙  
は来る二十三日執行される  
事になつたが今年からは満  
十八歳以上の女子にも選挙  
権があり従つてその運動も  
猛烈を極めてゐるが平機關  
庫では

#### 有権者

三百五十九

名定員三名の處に現在立候  
補を宣してゐるのは大村七  
郎、箱崎昇吾、白土長一、  
大樂峰次郎の四氏がある  
關係では、赤井、小川郷  
の三驛で定員二名の處に有  
権者は百八十九名で名乗  
りあげた者としてないか檢  
車所、車掌等の

#### 野心家

が相當裏面

に於て潜在的運動を續け

### 酒無デー

九月一日に

九月一日大震災記念日を  
し日本國民禁酒同盟會では  
全國一齊に恒例の「酒なし  
デー」を催す事となり本縣  
の禁酒同盟會でも當日の宣  
傳方法について種々と町村  
長等に依頼しつゝあるが平  
町禁酒會では同盟會と聯絡  
をとり禁酒講演、活動寫眞  
印刷物等に依つてそれごと  
く禁酒の宣傳を行ふ由で

### 御大典記念

#### 町村長會で協議

石城町村長會臨時總會は  
十四日午後一時から平町元  
郵會議室に開會御大典記念

### 小名濱は立派な港

前途は頗る有望である

#### 伊藤内務部長の視察感想談

石城郡地方を視察中であつ  
た伊藤内務部長は十一日午  
後八時着下り列車にて歸福  
したるが視察の感想を語る

小名濱港をはじめ四ツ倉  
江名の各港、鮫川疏水及  
び勿來等を視察して來た  
が石城は概して人氣が活  
潑、美人も多い小名濱港  
は流石に立派な港で前途  
すこぶる有望である、江  
名、四ツ倉、漁港も考究  
する必要があり、鮫川疏水  
はもと巨額の費用を投じ  
たに拘らず工事失敗し見  
るも無慘、有様で目下無  
利子を以つて二千圓づつ  
償却してゐるのだが鮫川  
電氣と同時にその復活問  
題を解決したくその必要  
を感じて來た云々

### 石城將校會

#### 鮫川清遊延期

石城郡將校會では十二日郡  
南鮫川口で地曳網の清遊を  
試む等であつたが都合によ  
り来る十九日の第三日曜に  
延期する事となつた

#### 魔の踏切

### 追剽が出沒

不良少年の悪戯か

平町字仲町鐵道踏切り附  
近に於て平窪村の某が活動  
からの歸途同所を通行中一  
名の男が暗闇から姿を現し  
金錢を強要したので驚いて  
その儘逃走した事實がある  
時には必ず取はさずなく  
てはなりません。もし寶石  
類の光澤が少くなりました  
ら先づ石輪を微温湯にどか  
して石輪泡をつくり之に二  
三滴の揮發油を落して暫く  
指輪をひたしますと寶石の  
光澤は元のやうに光ります  
又金が光澤を失つたときに  
はアンモニアをませた水で



家庭の冠

### 寶石類の洗濯

ルビーやダイヤモンドの寶  
石類は日頃臺所働きや洗濯  
をなさる時湯水に手をつけ

### 平署としては珍しい

#### 高等係りの昨日今日

頗る多忙なりし去年の今頃

#### 感慨無量の述懐

平署の高等係は土地柄各種  
事件の頻發に横地部長以下  
四名の専任刑事が常に多大  
の緊張を以て殆んど晝夜兼  
行の活動を續け來つたが最  
近行はれた銀行問題批評或  
は電燈料金値下運動など、  
銘うつた

#### 演説會

なごもその  
ためさしたる伸展を見ずし  
て大休終熄のかたちとなり  
差當りこれぞといつて力痛  
を入れる程の問題もなく至

#### 発表

た坑夫退職  
慰勞金内規の内容が餘りに  
少額に過ぎるといふ理由の  
下に三日の夜内郷村大字高  
坂の天神山に集合し該規定  
の更訂賃銀値上食糧米實費  
支給を協議する騒ぎこれと  
相前後して二日には湯本區

#### 同夜に

漢が湯本町に現れ労働歌を  
高唱して暗へ姿を消したな  
ご相當高等係をして氣をも  
ませる様な事が起つたはま  
だしも中旬には無産青年前  
衛隊の發會式やら労働農民  
黨支部員その他から我が警  
城礦山代表者

#### 協議

いつた様な  
演説會が開かれ當時伊  
長今の須賀川署警部補を首  
班とした平署高等係なるも  
のこれが取締に寧日なき有  
様であつた處へ年末からそ  
ろ／＼國會選挙に對する事

### 平町の悪疫

蔓延の兆あり

變態的天候に石城郡地方に  
傳染病が非常に猖獗し警察  
當局は町村役場と協力嚴重  
豫防警戒をなすつゝあるが  
毎日やうに細雨に完全な  
消毒の出來ず今益々蔓延  
の兆あるが平署管内十一日  
の傳染病發生は疫癘好間村  
坑夫正二次男長谷川正吉  
平町材木町酒商仁三郎二  
男江尻義孝(四)の二名で直

### 清野儀重氏

十一日夜長逝

石城郡平町字南町清野儀重  
氏は病氣中であつたが十一  
日午後八時死亡した儀重は  
十四日午後三時自宅出棺  
長橋町性源寺に於て執行す  
るに因り清野産婆看護婦會  
長清野キヨ子女史は夫儀重  
氏の意志に依り平消防組に  
金壹百圓を寄附せる由

### 八代氏出發

明午後一時廿一分

前東京朝日新聞平通信部主  
任八代公行氏は十四日午後  
一時二十一分發上り列車に  
て郷里鹿島村へ引上ると

### 募集

文藝其他投稿  
を募集します

### 好天氣で

各濱大賑ひ

四十餘日も降りつゝいた天  
候も十二日は早朝から晴れ  
渡り久しぶりに太陽を見た